

古代倭国成立の真実をテーマに、主役である「大和・出雲・吉備」各々の地域の方々が岡山に参集し、その神話や考古学的成果をふまえ、会議・直会・遺跡めぐりを通して相互に情報を交流発信した

古代三都物語岡山実行委員会

活動の目的

古代の主役であった三都市の代表が、会議・直会・吉備古代遺跡巡りを通じて交流・情報発信し、それにより、岡山県民および来訪者が歴史に触れ楽しめる街づくりを目指す。

活動の内容及び経過

2019年4月13日（土）13:00～19:30

西川アイプラザ シンポジウム・直会

出演：関裕二氏（歴史作家）、本間恵美子氏（出雲学研究所副理事長）、馬場基氏（奈良文化財研究所資料研究室長）、田中文也氏（全国邪馬台国連絡協議会副会長・参院古代史研究会）、中東弘氏（河内国一宮枚岡神社宮司）、岡将男氏（楯築サロン代表・本実行委員会副委員長）

2019年4月14日（日）09:00～16:00

吉備の古代史スポット巡りツアー

RSKバラ園上東遺跡～楯築遺跡～造山古墳～鬼ノ城、鯉喰神社～吉備津神社～中山茶臼山古墳～県埋蔵文化財センター
6月：特殊器台復刻制作・その他計画中の事業；定期的に奈良、出雲、吉備において本大会を実施。制作した復刻吉備特殊器台を奈良のいずれかの施設、岡山空港、岡山駅などに寄贈、設置。

★ホームページ制作（吉備の歴史スポット案内を多言語で展開）

★吉備の歴史スポット案内の動画を多言語対応制作しYouTubeなどで展開

★その他、出雲奈良の先進事例に倣い岡山の文化発信力に資する活動をめざす。

活動の成果・効果

日本古代史最大テーマは「日本（倭国）誕生の謎」だが、近年の議論では、弥生終末期に小国の乱立状態から統一国家となる倭国は吉備、出雲、東海などの有力国を中心に多くの国邑が奈良纏向に集結して誕生したとされ、これが魏志倭人伝に語られる「邪馬台国」が主導する倭国の姿だと考えられている。このたびの企画「古代三都物語 出雲・吉備・大和 媛たちのロマン モモソヒメってダレ？」はこの倭国成立の真実をテーマに、主役である「大和・出雲・吉備」それぞれの地域の方々が集まり、その神話・伝承や考古学的成果をふまえ、登場する女性にフォーカスしながら会を進行した。初日シンポジウム、直会を実施、2日目は遺跡巡りツアーを通じて、150名以上が集まり、意見交換し、各々の地域の古代史への理解を深め、今後の地域活性化の重要な資源となることを実感した。今回企画運営に参加し



た岡山の各団体は以下の通り。岡山歴史研究会、吉備学会、楯築サロン、熊山遺跡研究会、吉備歴文会、造山古墳蘇生会、ワンダーシップ、おいでんせえ岡山。これらの諸団体が一堂に会し協力してこのようなイベントを実施したのは初めての試みであり、そういう意味においても意義深いイベントであった。また出雲地区からは出雲学研究所・山陰古代史研究会、大和地区からは奈良文化財研究所・河内国一宮枚岡神社など代表の方をパネラーとしてお迎えし、議論を深めた。

今後の課題と問題点

今回は、大和あるいは出雲地区での開催を検討中。各々の地域歴史遺産を検証し、広く全国へ向けて観光資源としてもアピールを行っていく。

- 代表者：松畑熙一 ●所在地：岡山市北区表町
- TEL：086-270-5701 ●E-MAIL：akimasa1224@gmail.com
- URL：https://izumo.yamato.kibi33.com/
- 設立年：2018年 ●メンバー数：150名